

# 文化の仲間

京浜協同劇団と共に歩む文化の仲間 会報 No.89 2020年2月16日発行  
川崎市幸区古市場 2-109 京浜協同劇団内 TEL 044-511-4951 郵便振替 00250-3-18369  
ホームページ：<http://www.keihinkyoudougekidan.com/bunkano-nakama/>

## お正月おたのしみ会が 13 回目を迎えました

ご近所の方に気軽に劇団に足を運んでほしいという企画で始まったお正月おたのしみ会も 13 回目を迎えました。参加された方に感想をいただきました。

新しい年を迎えて

### おたのしみ会をはじめ充実した年に

二村 柊子

新しい年が来て、1月12日には13回を迎えた「おたのしみ会」を開催し……もう、立春になってしまいました。

2019年、文化の仲間は「旬をたのしむ会」(6月)、大田区の「花火を観る会」(8月、強風のため花火は中止)、「第21回総会」(9月、2018年は台風接近のため中止)——何やかやとお天気に悩まされる今日この頃となりました。ダメージを受け続けている私たちの地球、文化の仲間の行事にも気象の危機は迫っていきそうです。

今回の「おたのしみ会」には大人35人、子ども14人が参加しました。劇団の強力な協力のもと、楽しいお正月らしい舞台が繰り広げられました。「進化してますねー」との“常連さん”の感想もいただきましたが、「誰でも出演できます。誰でも見に来られます。入場は無料です」という催物ではありますが、いえいえどうして、本番に至る道は、もっともっと考えてい



かなければと痛感させられました。

そして、プログラムの最後はいつもの「輪投げ大会」です。身体を動かすことの楽しさ、解放の喜び(大きさですねー)を見た気がします。この輪投げの板と輪(ガスホース)を製作された方々(すでに故人になられてしまった人も)に心からお礼申し上げます。

3月20日～22日、私たちは「平和憲法作品展」をスペース京浜で開く予定です。民主主義は脅かされている。歴史は進歩したのですか? 「今、私たちは——」皆様の作品に期待をふくらませております。ぜひ、作品の参加(出品)をお待ちしております。私は?

そう、輪投げ大会のときに首にかける毛糸の輪を編んでいるだけじゃなくて、20年ぶり(?)にまた編んでみようかしら——マフラーなんかなら、ただただまっすぐ、ひと目ひと目に平和憲法を守り抜く決意を込めて。(はずきルーペもあります)

文化の仲間が発足したときから世話人の中心にあり、劇団のすぐ近くにお住まいだった斎藤博章さんが、2019年の春に亡くなりました。“本当にありがとうございました”

そして、数か月後、新たに2人の方が私たち文化の仲間となりました。

今後、3月の「平和憲法作品展」、さらに『音楽の「根」



## (2) 第13回お正月おたのしみ会

を掘る 安達元彦』を題材にした茶話会(第2回は「荒木栄について」)、そのほか、世話人一同、力を尽くして取り組んでいきます。

時は春、充実した年になることを願っています。

(文化の仲間代表世話人)

## 相棒のけんちゃんと一緒にニューヨークの国連へ

中尾 みゆう

「文化の仲間」No.89 初出場！ こんにちは、腹話術の会きずなの中尾みゆうです。この度この会報に載せていただけることを嬉しくまた恥ずかしく思っている所存ではございますが、少し私の話をさせてください。

私が腹話術に出会ったのは小学3年生の春です。祖父に連れられて見に行った「腹話術のつどい」でした。こんなに楽しい芸を見せられ私は楽しくなってしまう、「腹話術をやりたい!」と、当時は小学生3人での子供腹話術を始めることになりました。それはまた恩師、京浜協同劇団の劇団員でもあるしろたにまもるとの出会いでもありました。

そしてそれから半年ほどして初めて京浜協同劇団と共に歩む文化の仲間の「お正月お楽しみ会」に出演することになりました。私にとって初舞台だったと記憶しています。

こうして公演を重ねていきました。お正月お楽しみ会は毎年出演し、恒例行事となりました。その間は、たくさんの方がいました。東日本大震災被災地・福島に二度訪問、高校受験で1年のブランク、そして子供腹話術は私1人が残り、私は去年の春、高校1年になりました。

これまでを振り返ると本当に色々なことがあり様々な人に出会いました。また今になってわかること考えることがあります。私にとって腹話術の出会いはその



だけではなかったようです。今の思いを全部書いてしまうと今回の会報を全て埋めてしまいそうなのでやめておきます。

先日2年ぶりにお楽しみ会に出演をしました。その際お声かけをして頂いて引き受けたのがこの会報でした。ありがとうございます。

少しこれからのことを書きます。私は今度、おそらくこの会報が出るか出ないかの時期でしょうか、腹話術のインストラクターの資格試験を受けます。でもこれは落ちてしまったらいやなのでこれ以上の話をするのはやめておきます。また今年の4月末、相棒のけんちゃんと一緒に私はニューヨークの国連、そして世界大会に行ってきます。ご存知の方も多いでしょうが、私はしろたにまもるに付いて行って、核廃絶を訴えていきます。これはこれまでの先生しろたにの活動を見てきたり私も参加してきたことも参加の決意の材料になったと思います。この先はただ腹話術をやるだけで



なく私の活動で何ができるかを考えなくてははいけません。

書きたいことは多すぎてなんだかうまく書けなかった気もしますが、書けば書くほど止まらなくなってしまうのでそろそろ止めようと思います。すでに文字数をオーバーしています。そこは会報担当の方に何とかしてもらいます(笑) 今回の機会を頂いたのも、私がかここまでこれたのも、多くの人のおかげだと思います。この場をお借りして少しでも感謝を伝えられたらと思います、本当にありがとうございました。私もまだまだ精進あるのみですね。

そしてこれは先生のしろたにには内緒にしている事なのですが、私が生まれる1年ほど前、私の家族はしろたにの公演を観ていたのです! 家から1枚の写真が出てきてわかりました。左から父、母、姉です。その時私は母のお腹の中にいたでしょう。不思議なご縁ですね。乱文失礼しました。(腹話術の会きずな)

## 子どもに遊んでもらって楽しかったのは私だった

田中 耕一

おめでとうございます。京浜協同劇団の田中です。

昨年の秋公演で死神に出演させて頂き、お客様から「あなた演技下手ね。だけど面白かった」と言われ、嬉しいやら、悲しいやらのダイコン役者です。でも、大根は、時間を掛けて煮ると味が染み込んで良くなりますので、皆さま、見捨てずに宜しくお願い致します。

さて、今回でお楽しみ会は、13回目となるそうです。おめでとうございます。

今回で2回目の参加となりますが、今回は、諸事情から舞台監督と言う大役を代役ながら、務めさせて頂きました。出来るのは雑用係でしたが。

でも、お楽しみ会は、出演者や他のスタッフの方々の活躍があり、最後に子供たちの笑顔に囲まれて無事終える事が出来ました。

そんなお楽しみ会について、少しだけ書かせて頂きます。



ご存知の方も多いかと思いますが、京浜協同劇団の地元である古市場は、多摩川が近く、車通りも多くはなく、子育てには良さそうな住宅街です。しかし、昔の子供達も成人し、町を離れ、住民も年々年を重ねて行きます。簡単に言えば高齢化ですね。

そんな中、地元の子供達と劇団の接点を増やし、子供達に、この地に親しまれるようにと毎年成人式の頃に開催されているそうです。

今回、正直言いますと朝から寒いし、正月疲れで眠いし、行きたくないなあ、と起きてから布団の中で30分ほどグダグダ。

更に家を出る時間が近づき、起きなきゃ、との思いがプレッシャーをかけます。

でも、こういう時は逆効果。余計に布団から出れなくなり、やっと出たのは1時間後。急いで支度をして、何とか劇団へやって来ました。

そんな私に対して、劇団についたら、他の方々は既



に集まられて、楽しそうに準備をされています。

そして、色々と気を配られ、率先して、会場設営やポスター貼り、道案内準備などをされている姿を見て、凄いなあと今朝の自分とのギャップを思い知らされました。

お楽しみ会の内容はと言えば、それだけ皆さんが楽しそうに率先して準備をしたのです。出演される方々も気持ち良さそうにリハーサルをして準備万端。子供達にとっては、高校生のお姉さんによる腹話術、子供だけでなく、一緒に来られた大人の方々にも楽しんで頂けたことは言うまでもありません。

何度見ても何処から声が出ているか不思議な腹話術、映像が目に浮かぶ朗読、昔話とピアノの効果音がマッチした昔話、メチャクチャ疲れそうだけど聴き入っちゃうピアノ、会場中に空きつ腹に響く迫力ある太鼓。どれも目の前で行われているライブに素晴らしいと思いました。

最後は、輪投げ。スマホゲーム全盛期にと思われるかも知れませんが、これが子供達にウケてます。輪が入らなければ、「もう一回」となり、輪が入れば、「やった」と喜び、感情の起伏が、子供達の顔や行動に表れます。

楽しそうな子供達を見ていると自然とこちらも楽しくなります。一緒に「おし〜い」や「上手い」と声をかけている自分がいました。

自分の子供が大きくなり、あのように一緒に遊ぶこともなく、遊んでもらって、楽しかったのは私だったのかも知れません。ありがとうございました。

色々と準備も大変かと思いますが、来年も宜しくお願いします。  
(京浜協同劇団)



『音楽の「根」を掘る 安達元彦』読書会

## 「安達元彦本」の茶話会を開催しました

山木 健介

2018年11月30日に京浜協同劇団の和田庸子さんをはじめとした刊行する会の皆さんが『音楽の「根」を掘る 安達元彦』という本を発行しました。

なかなか興味深い本なのですが、分厚い本（600頁・値段は3,700円＋税）なので完読するのは難しそう、とは言っても買って本箱に眠らせてしまうのはもったいない、ということで、この本を題材にした茶話会を行うことにしました。

1月19日（日）15時から2時間、京浜協同劇団稽古場（スペース京浜）の1階で、お菓子を食べながら緑茶・コーヒー・紅茶を飲んで、たつの素子さんのCDもかけて、第1回茶話会のテーマの「安達元彦さんとたつの素子さん」について雑談しました。

お茶を飲みながら言いたい放題雑談するために当初は安達元彦さんの参加は予定していなかったのですが、茶話会の内容について議論する中で予定を変更して安達元彦さんにお出でいただくことにしました。

当日は安達さんを含めて7名の参加でした。茶話会をやるので本を読んだという人が多くて、本箱に眠らせないという企画の意図が当たった感じでした。

たつの素子さんを何十年も前から知っている人、本を読んで初めて知った人、生歌を聞いたことのある人、ない人、参加者でいろいろでしたが、たつの素子さんについて本に書いてあることだけでなく参加者や安達

さん本人から知られざる話などが披露されました。また安達さんの歩んできた人生の話など聞かせていただきました。

この茶話会は、何かの成果を得るために開いたのではなく、本箱に眠らせてしまうのはもったいないということで始めたので、雑談に終始した茶話会でしたが、楽しいひと時でした。

終了後、有志で近くの店に行き、夕食を取りながら酒を飲み（安達さんは飲めません）お話しました。

2回目も企画しています。興味のある方は、安達本を購入し（購入は劇団の和田庸子さんにご連絡ください）、参加してみませんか。お茶とお菓子でお待ちしています。

## 米寿と傘寿を祝う会

6ページでお知らせしている「平和憲法作品展」の打ち上げを兼ねて、岡田京子さんと小野寺晃さん（世話人）の米寿と安達元彦さんの傘寿をお祝いする会を開催します。どなたでも参加できます。

日程 3月22日（日）17:00から

会場 京浜協同劇団1階

会費 2000円

### 本の紹介

くものうえまで はないちもんめ

さく・え やまもとよしこ

合同フォレスト 700円＋税

文化の仲間の会員の山本嘉子さんが、自身の体験や保育士・保育園園長の経験を生かし、平和を語り継ごうと、2016年に絵本を出版をしています。この本をあいだに、子どもや孫と平和について語り合う機会をつくってみてはいかがでしょうか。



劇団員による劇団員紹介 第8回——和田庸子さんによる護柔一さん紹介

# 看板(描き)俳優 護柔一の秘密

京浜協同劇団 和田 庸子



驚いた！ 護柔一のことを書くチャンスなど、アリエナイと思っていたから。実はすごうれしい。この人の秘密を堂々と語れる日がついにやって来たのだ……。

一見穏やかでやさしい。東に看板が必要な人あれば、黙って徹夜して描き、西に病んだ猫あれば、猫なで声を発しながら抱きしめに行く、人ノ意見ハ否定セズ、イツモ静カニ笑ッテイル……。

いいえ●●● 護柔一ほどラディカルな考え方を持った人間を私は身近に知りません。ただ、人と違うのは、普段それをあまり口にしないだけ。

2019年は護柔一にとって画期的な年となったのではないだろうか。劇団入団以来45年、ほぼ全公演で「役」を——それも主役クラスを演じてきたのに、初めて「役」につかず、演出・台本づくりに徹した。いや、演出についての護柔一が「護柔一」を役者として選ばなかったのだ。

なぜか？ 本気で「役者」を育てたい、そのために全力を傾注しようと考えたのだろうと思う。一言つぶやいていたっけ。「オレが真ん中で役者をやる時代じゃない」と。結果、お客さんは今回の試みをあたたかく受けとめてくれた。

護柔一の魅力はこんなところにある。現状を見つめ、一步でも前進できる方向と方法を決める。決めたことはやりとおす。現場に身を置き、そこから発想を産みだし、アウトラインをつくりあげていく。だから彼の仕事には根っこがちゃんとある。言い訳はしない。モチロン、稽古過程は日々修羅場、欠席・遅刻が多く、役者同士の人間関係もうまくいかないことだらけだ。そういうときも稽古外で、ほとんど愚痴や悪口を言わない。稽古がすべてなのである。別名「ゴジュウ・マジメ」と呼ばれるが、マジメだからというより、新しいものをつくる職人的リアリズムの人なのだと思う。たまに笑った眼のふちに、鋭い怒りの片鱗を感じることもある。そりゃ、こわいヨウ。

護柔一は正真正銘、京浜協同劇団という集団の中で

育った「集団の子」である。たくさんの役をやり、唄をつくり、ギターを弾き、人間らしい人々に出会い、交わって来た。護柔一の中に、ジョー・ヒルや朝鮮人の朴さん（麦の穂のように）や土屋芳雄さん（ひとのあかし）、また創立者・黒さんや中沢研朗・佐藤張二さんの「温かみ」をハウフツとを感じる時がある。最近では細田寿郎だっけと見えて来る。護柔さん、重すぎたら、おろしてもイイヨ。え？ 背負っているつもりはないって？ 良かったア。

護柔一は19歳で故郷山形を出奔した。「裸の19歳」という映画があったが、当時の危険な年齢である。「農家の長男として、農業に未来を見いだせなかった」という。然り。親の後ろ盾もなければ大会社の福利厚生も枷（かせ）もなく、自分の直感と腕だけで働いて生きてきたんじゃないかと思う。ただ、青春と人生を費やしてしまったほどオモシロイものに出会えた。

家出少年は、70歳になった。さて、これからどう生きるか。

私たちが結婚したとき、岡田京子さんがこんな手紙を下された。

「護柔さん、庸子さん。眼のさめるようなカップルの誕生です。

おめでとう。

この日はもう二人が生まれる前から決まっていたかのようにキマっているヨ。

ふたりでいっぱい いい仕事をしてください」

もし、これからも演劇を続けて行けるのなら、演出もいけれど、本格的な老年の役をやってほしいと心から願っている。「人間の老年」を護柔一の演技で感じてみたい。「人生の終盤は勇敢でなくちゃね」だから……！



連載 「京浜協同劇団」と私——第 11 回

# 今までにない立場に立たされた

岡田 京子

なぜ「新制作座」から声がかかったかという、少し前に戻らなければなりません。私が「わらび座」にいた最後の年に、その頃『世界』という雑誌に、座のことを書かれた哲学者の福田定良先生が、「新制作座」の座長、眞山美保さんを連れて「わらび座」に来られたことがありました。

私たちは「新制作座」も知らなかったし、もとより眞山美保さんも初めてでしたが、当時の眞山美保さんは「時の人」であったのでした。作家・眞山青果氏の娘で、美保さんの出された『日本中が私の劇場』という本がベストセラーとなり「菊池寛賞」をとり、今までの古い演劇界を抜け出して、新しい道を作っていくと、観客も今までのインテリ層ではなく、当時多かった繊維工場の女性労働者を中心に活動をされていました。そういう中で福田定良氏とも知りあい、「わらび座」にも興味を持たれたのでした。

ちょうど「わらび座」の、午前中の小学校公演に間にあい、その後、稲を刈り取ったばかりの田んぼの畦に腰をかけての対面となりました。その頃まだ、そのようなことに学校の室を借りるという習慣もなかったからです。その時おみやげとして持って来られたのが、男性には煙草、女性には色とりどりのブラウスでした。畦道に、5人くらいだった女性を立たせて、どのブラウスが誰に似あうか取りかえ引きかえ着替えさせて私たちを驚かせました。

舞台衣装はともかく、日常の生活では、何でも着て

いればいような生活をしていた私たちであったのですから。これが、新制作座とわらび座の出会いでした。

その後半年ほどたって、「次の新作の上演にあたって共演したい」と、座長の横山さんをはじめ数人の出演依頼が来たのですが、1人欠けても成立しない舞台状況なので横山さんも困り果て、当時、舞踊の振付を一手にしていた橋本さんという男性を、短期の講師として暫く出したのが精一杯だったと思います。

こういう事のなり行きがあった後、私は「わらび座」を出て、東京でやっと自分の道を歩き出そうとしていた時期が、「新制作座」の「新しい企画」と重なったのだと思います。

西武新宿線の井荻駅に近いところに新制作座の稽古場がありました。1週間に一度ほどの歌の練習、ということで、それくらいなら自分の勉強にもなると思ってお引き受けすることにしました。

行ってみて驚いたのは、家族のようだったわらび座と違って、50人近い座員が、一条乱れぬ、という言葉のようにまっすぐに立って(座っていても)「はい!」「わかりました」などの受け答えを全員ではっきりと言うことでした。それは眞山さんに対してだけでなく、私に向かってもそうなので、慣れない私は次の言葉を忘れてたりして困りましたが、接してみるとみんないきいきした明るいわかものたちでした。私もまだ二十代の半ばすぎでしたが、今までにない立場に立たされたのでした。

## 平和憲法作品展 作品を募集します

開催日 3月20日(金)～22日(日) (20日 13:00～17:00 / 21日 10:00～17:00 / 22日 10:00～16:00)

会場 スペース京浜(京浜協同劇団稽古場)

展示作品 文化の仲間会員・劇団員その家族や友人など趣味で行っている絵画・陶芸・写真・書道など  
作品の展示に際しての出展料・貸出し料等は無料。販売を希望される方は値札をお持ちください

◇出展の申込み 2月末まで

◇作品の持込み 3月14日・15日各 10:00～16:00 持帰り 3月22日 16:00～19:00

主催 京浜協同劇団と共に歩む文化の仲間 連絡先 事務局・山木 090-7218-3551

## 第 39 回 かわさき演劇まつり

## 50 人を超えるキャストで稽古

京浜協同劇団 柳沢 芳信

今回のオーディションは暮れも押し詰まった 12 月の 23 日の夜と、26 日の昼、夜の 3 回に分けて行われました。11 月中から募集を開始し、劇団わが町や、中原ミュージカルなど、これまでにない広がりの中で、劇団員を含む参加希望者が 66 名となりました。

その後辞退した方を除き、これから面接する方を加えると 58 名の方が名簿に載っています。年齢構成も幅広く、小学生 3 人、中学生 3 人、高校生 3 人、20 代 4 人、30 代 7 人、40 代 6 人、50 代 19 人、60 代 5 人、



70 代 7 人、80 代 1 人で、平均年齢は 45 歳です。

50 歳代が 19 人というのは興味深いところ。子育てが一段落して生活も安定してくる頃でしょうか。また、これまで市民劇や演劇まつりに参加したことのあるおなじみさんと劇団員を合わせて 30 人、なかはらミュージカルから 6 人、銅鑼から参加の 2 人を合わせた演劇経験者が 10 人、演劇が初めてと言う方が 6 人という構成です。

50 人を超えるキャストで稽古をするというのは、どういう感じなのか、これまでにない大所帯なので、ワクワクする気持ちと恐怖が同居しております。子どもを含めた大所帯といえば、「麦の穂のように」があ

りました。この時は劇団としても最盛期でした。また、「おばけちゃん」や「はだかの王様」もキャストの年齢が低かったと記憶しています。

今、京浜協同劇団自体は縮小して高齢化し、体力が弱まった中でどう運営していくのか、課題は大きく、難問山積ですが、やる気のみなざる市民たちと、おなじみの顔ぶれを信頼して力を合わせて乗り切りたいと思っています。

一方、集客目標は 2500 名としました。これまでの実績とキャストの数、そして作品の人気度、そして早期取り組みによる効果から、達成見込みのある数と考えています。これが実現しますと、今度は受付体制が大変です。文化の仲間の皆さんとは、これまで以上に連携をよくして、十分な体制を築いて参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

上演日程は、7 月 11 日 (土) 11 時 16 時

12 日 (日) 11 時 16 時

一般 2500 円 子ども (高校生以下) 1000 円



## 第 39 回 かわさき演劇まつり公演

## 冒険者たち

## ガンバと 15 匹の仲間

原作 斎藤惇夫 / 脚色・演出 大谷賢治郎

日程 2020 年 7 月 11 日 (土) 11 時・16 時 / 12 日 (日) 11 時・16 時

料金 一般 2500 円 子ども (高校生以下) 1000 円

会場 多摩市民館大ホール

問合せ 川崎文化財団 044-272-7366

実行委員会 044-511-4951 (京浜協同劇団)



斎藤惇夫 作 藪内正幸 画 岩波書店刊

◎文化の仲間通信◎

◆原発ゼロへのカウントダウン in かわさき

日程 3月8日(日) 10:30 開場 12:00 文化行事  
13:00 メイン集会 14:00 デモ出発

会場 中原平和公園

ゲストスピーカー 後藤政志(元原子炉設計技術者)  
／小川仙月(脱原発ネットワーク茨城・共同代表)  
／服部浩幸(「生業を返せ、地域を返せ!」福島原発訴訟原告団事務局長)

ふたたび原発事故を起こさせないために、大人が守ろう子どもたちの健康、命、そして未来

問合せ 実行委員会 044-211-0121

(川崎合同法律事務所内・三嶋)

◆こまつ座 第131回公演 きらめく星座

日程 3月5日(木)～15日(日)(詳細問合せ)

会場 紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA

作 井上ひさし／演出 栗山民也／出演 松岡衣都美・久保耐吉・高橋光臣・瀬戸さおりほか

料金 8500円(全席指定) U30・5500円

高校生以下 3000円

戦後75年の今が“戦前”にならぬように祈りを込めて

問合せ・申込み こまつ座 TEL03-3862-5941

◆東京国立博物館 特別展

法隆寺金堂壁画と百済観音

日程 3月13日(金)～5月10日(日) 9:30～17:00  
(入館は閉館の30分前まで、会期中の金曜・土曜は21:00まで開館) 休館日は月曜日(ただし3月30日、5月4日は開館)

会場 東京国立博物館 本館特別4室・特別5室(上野公園)

観覧料 一般1200円 大学生600円 高校生400円 中学生以下無料

世界遺産・法隆寺。世界最古の木造建築の金堂にはおよそ1300年前に描かれた壁画がありました。「法隆寺金堂壁画」のすぐれた模写や、焼損後に再現された現在の壁画、国宝・百済観音など、金堂ゆかりの諸仏を展示します。

問合せ ハローダイヤル 03-5444-8600

公式サイト <https://horyujikondo2020.jp/>

◆文学座アトリエ70周年記念公演

歳月／動員挿話

日程 3月17日(火)～29日(日)(詳細問合せ)

会場 文学座アトリエ(信濃町)

作 岸田國士／演出 西本由香(歳月)・所奏(動員挿話)／中村彰男・神野崇・名越志保ほか(歳月)・齊藤祐一・西岡野人・鈴木亜希子ほか(動員挿話)

料金 一般前売り4600円(全席指定) ユース2700円(25歳以下)

文学座アトリエ70周年記念公演のオープニングを飾るのは、岸田國士の二本立て上演です。

問合せ・申込み 文学座 TEL03-3351-7265

◆東京芸術座 公演 No.106

さまようヒロの声 14歳といじめとオジサン

日程 4月8日(木)～12日(日)(詳細問合せ)

会場 俳優座劇場(六本木)

作・演出 宋英徳／出演 山村勇人・梁瀬龍洋・星野

小熊・中新井美穂ほか

料金 一般5000円 U30・3500円 高校生以下2500円(全席指定)

東京芸術座が挑むミステリーファンタジー! 昭和の時代に起きたいじめ事件に関わった中学生たちの今を描く問題作。

問合せ・申込み 東京芸術座 TEL03-3997-4341

<http://www.tokyogeiijutsuza.co.jp>

◆劇団民藝公演 どん底—1947・東京

日程 4月9日(木)～19日(日)(詳細問合せ)

会場 紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA

原作 マキシム・ゴーリキー／脚本 吉永仁／演出 丹野郁弓／出演 日色ともゑ・森田咲子・杉本孝次・千葉茂則ほか

料金 一般6600円 夜チケット4400円

U30・3300円 高校生以下1100円

敗戦から2年が過ぎた1947年の東京・新橋。空襲によって焼けたビルの半地下に、行き場のない人々が暮らしている。晩秋のある日の朝、正体不明の老人がやってくる。

問合せ・申込み

劇団民藝 044-987-7711(月～土10時～18時)

<http://www.gekidanmingei.co.jp>

◆川崎市民劇場4月例会

劇団 NLT 公演 毒薬と老嬢

日程・会場 4月18日(土)14:00 幸市民館

4月23日(木)18:15 / 24日(金)13:30 エポックなかはら

作 ジョセフ・ケッセルリング／演出 賀原夏子、グレッグ・デール／出演 木村友里・阿知波悟美・川端楨二・永田博丈ほか

時は1940年代、ニューヨークの閑静な住宅街に2人の老姉妹がちょっと頭のおかしい甥と同居している……。

問合せ 川崎さいわい市民劇場 TEL044-244-7481

たま・あさお市民劇場 TEL044-911-6920

川崎市民劇場なかはら TEL044-455-7950

■文化の仲間ギャラリー■

大谷 敏行⑫

「厳選」大谷敏行の川柳塾

財産を築く暇なく年老いた  
二〇二〇年二月三日『日本海新聞』掲載

憲法の上にもまします地位協定  
二〇二〇年二月九日『赤旗日曜版』掲載

かのくに引き際の美学教えたい

長きもの牛の涎に安倍政治

オリンピック 三顧の礼で待つ与党

美辞麗句 聞かされる身にもなってみろ

冷たいと言われる世間も渡りよう